

2. 指標設定

成果指標	指標名	市営住宅の適正な管理		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			快適な生活空間に必要な施設環境を整えるため			
活動指標	指標	a	入退去管理事業	b	維持補修事業	c		d
	数値	目標	毎月対応	目標	随時対応	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
市営住宅の適正な管理		—	—	—

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 入退去管理事業	戸	97 戸	142 戸	148 戸
b 維持補修事業	件	219 件	272 件	229 件
c				
d				

4. 課題と対応

課題
市営住宅入居者のニーズは多岐に渡るとともに増加傾向にあり、維持管理や修理に対する要望も増えている
対応（改善点等）
軽易な修繕や小規模修繕については出来るだけ営繕作業員による修繕で対応している。その他の修繕については緊急性の高いものから対応している

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

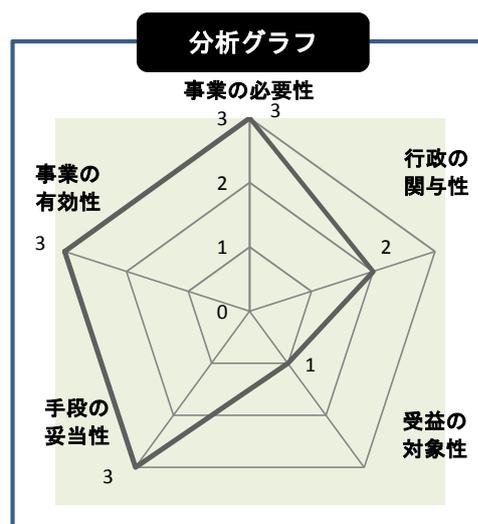
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		27,970	33,551	45,740	39,639
うち経常経費		27,970	33,551	38,075	39,639
財源内訳	国費	1,769	1,822	1,822	1,823
	県費				
	市債				
	その他	26,201	31,729	43,918	37,816
	一般財源				
うち経常					
事業費に係る人件費		23,348	23,253	23,738	19,221

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
募集、維持管理は必要のため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 住宅での快適な生活を送るために入退去管理、維持補修は必要である事業と思われるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 入退去、維持管理を民間に委ねることは可能と思われる（経営感覚やノウハウを生かし、経費削減とサービス向上が期待される）
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 公営住宅入居者に限定した事業のため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 入退去管理、維持補修は快適な生活を送るためには必要不可欠であり、適切な手段であると判断できるため
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 入退去管理、維持補修に対する要望は多く、有効性はあると判断できるため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	未収金の回収を図り、引き続き適切な維持管理に努めること